

—— 角運動量演算子 $\vec{l} = (\vec{r} \times \vec{p})$ の固有関数と固有値

- 1) $\vec{l} = (\vec{r} \times \vec{p})$ をデカルト座標で書き下し、各成分 l_x, l_y, l_z 間の交換関係を求めよ。
- 2) $[l_z, l_x^2]$ 及び、 $[l_z, l_y^2]$ を計算し、 $[l_z, l_z^2] = 0$ と片々足しあわせることで、 $[l_z, l^2]$ を求めよ。

但し $l^2 = l_x^2 + l_y^2 + l_z^2$ である。

- 3) 以下、 $\hbar \vec{J} \equiv \vec{l}$ として J について考える。 $\hbar J_{\pm} = l_{\pm} = l_x \pm il_y$ と定義する。

$J_+ J_-$ 及び $J_- J_+$ を計算せよ (もちろん、 $l_+ l_-$ を計算しても良い)。

- 4) J^2 及び J_z の両方の演算子に対して、同時に固有関数となる $|jm\rangle$ を考える。固有値はそれぞれ、 $j(j+1)$ 及び j_z とする。すなわち $J^2 |jm\rangle = j(j+1) |jm\rangle$ 及び、 $J_z |jm\rangle = m |jm\rangle$ が成り立つとする。

この $|jm\rangle$ に対して $\langle jm | J_+ J_- | jm \rangle$ 及び、 $\langle jm | J_- J_+ | jm \rangle$ を計算せよ。

- 5) $\langle jm | jm \rangle \geq 0$ の条件を、前問 4) の結果に適用して、 j と m の間の条件式を求めよ。
- 6) 前問 5) の結果から、 $J_+ |j, j\rangle$ 及び $J_- |j, -j\rangle$ の値は何でなければならないか示せ。
- 6) $J_{\pm} |jm\rangle$ は J_z の固有ベクトルであるかどうかを調べ、もしそうであれば固有値を求めよ。

ヒント— J_z を $J_{\pm} |jm\rangle$ に作用させてみよ。

- 7) J^2 と J_{\pm} を行列で書いてみよ。特に $J = \frac{1}{2}$ の場合にも書いてみよ。

基底ベクトルは $\{|j, -j\rangle, |j, -j+1\rangle, \dots, |j, +j\rangle\}$ とする。ヒント—次元は $2j+1$ である。